

平成28年度学校評価報告書

平成29年3月28日

次のとおり平成28年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 学習指導の工夫改善により生徒の意欲を引き出し、確かな学力の向上を図る。
- (2) 節度ある学校生活を通じて心身の健康を図る。
- (3) 主体的に科目選択ができるよう進路意識の啓発に努め、目指す進路の実現を図る。
- (4) いじめのない仲間づくりに努め、命を大切にできる心の育成を図る。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	- 生徒のやる気を引き出す、学習イベントなど何らかの仕掛けが必要と考える。 - 主体的な学習態度を育むための取り組みを継続していく。 - 公開授業、授業評価等の活用が授業改善には効果的である。 - 大学入試制度改革を踏まえ、教育課程の点検、見直しを行う。	- 総合学科8年目を終え、総合学科の特色を活かした取り組みが今まで以上に生徒の学力向上に結びついているのではないかと。 - 科目選択について、適切に時間を確保し、保護者への情報提供を行ったほうが良い。 - 先生方の熱心な取り組みに感謝している。
改善方策	総合学科の利点を活かした「旭川南高校だからこそできる教育」を実践する。 1 授業、学校行事、部活動を最大限活かして主体的・対話的な学びを実践する。 2 探求心や伝達力を育成するため、課題研究を充実させる。 3 少人数の習熟度別学習やTT授業を充実させる。	
生徒指導	- ネットトラブル防止に向け、生徒が主体的に取り組む活動を継続していく。 - 交通事故防止、交通マナー順守の意識啓発を継続していく。 - いじめ防止基本方針の検証が必要である。 - 特別支援委員会が適切に機能していたことで、教育相談体制が充実してきた。	- 他校よりも早く夏場のスカートや冬のスラックス等機能を重視した制服採用は高く評価できる。 - 交通安全指導への参加は、生徒の様子もうかがえて、南高生の理解は深まった。
改善方策	1 ネットトラブルといじめ事故は密接に結びついており、事例対応の教員研修を実施するとともに、生徒の主体的な取り組みを啓発することで未然防止に努める。 2 特別支援委員会の機能をさらに充実させ、実態に即した教育相談を実施する。 3 地域資源を活用しながら、自他の命を大切にできる心を育成する。	
進路指導	- 系統的なキャリア教育においては、継続した課題と捉えられる。 - 生徒や保護者に対する情報提供は、回数、方法、内容それぞれに改善がみられる。	- 生徒の希望する様々な進路により丁寧に対応してもらいたい。 - 先生方が生徒と真剣に向き合い指導いただいていることに感謝している。
改善方策	1 進路情報について、たよりや講演会等を活用し、周知徹底を図る。 2 講習、模試等の計画をその目的や効果を十分考慮し、年次・教科等と連携し、精選を行う。 3 キャリア意識を高め、主体的な科目選択ができるよう指導する。	
公表方法	①学校だよりに掲載して、全保護者に配付する。 ②PTA入会式、総会、学校評議員会にて説明する。 ③ウェブページ（学校HP）で公開する。	